

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	令和3年度 第2回文化財保護審議会
開 催 日 時	令和4年3月4日（金）
開 催 場 所	書面開催
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：蓮沼会長、内野副会長、斎木委員、清水委員、瀬川委員、田代委員、多田委員、檜崎委員、波多野委員、原田委員
議 題	1 令和3年度念仏塚第1遺跡範囲確認調査実施報告について
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1について ・調査結果の報告に基づき、頂いた意見等を参考にして、今後の埋蔵文化財行政を実施していくこととする。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) ○印＝委員 ●印＝事務局	議題1について 【事務局説明】 ● 資料に基づき議題について説明（説明省略） 【意見等】 ○ 当該遺跡の旧石器時代の位置付けとその評価については、前回（平成10年度）までの調査内容を含めて今後の検討課題と思われる。また、前回の調査で検出された溝の続きが検出されたことは興味深い。出土した近世以降の陶磁器・土器類がヒバチヤさんと関連があるものか否か、その年代も含め検討が必要か。なお、塚が存在したことは、前回の調査時に聞き取り調査がなされているが、「念仏」の由来については、新宿区の念仏坂や小金井市の念仏坂のように、「夜は薄気味悪い場所で念仏を唱えながら通った」とする由来譚も参考になるかもしれない。 ● 貴重な御意見ありがとうございます。 ○ 「実施報告」のローマ数字による土層番号は立川ローム層の標準土層の名称を用いていると思われるが、IV層V層（1BB）等、関東ローム層中での位置付けや年代観について、考古学や遺跡調査の関係者には理解できても、一般的には解りづらいので、報告の最初の部分で、基本層序の項目を設けるなど、説明を加えた方が良いのでないか。 ○ 調査地の学区にある第三小学校、第三中学校に別紙1、7を授業等の資料として贈るのも良い。 ○ 「埋蔵文化財包蔵地」に関わる不動産業者への対応には、事前に試掘をするか、業者の行う掘削に立ち会うかなど微妙な部分がある。今回の試掘では、かなり以前に遺跡が破壊され、消滅したと判断されたが、文化財保護の立場から残念な結果である。今後は「埋蔵文化財」保護について、市民の皆さんへの周知を続けて行い、破壊が避けられるようにしてほしい。 ○ 新たな遺構、遺物の発見が成果として見られなかったことは残念であるが、前回までの発掘の際に不確定であった部分について明らかになったこともあり良かった。 ○ 「遺物が検出されず」という事実が確認できて良かった。

会議の公開・ 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者： <u>0</u> 人
	<input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 ()	

会議録の開示・ 非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示	
	<input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等：)	

庶務担当課	教育部 文化振興課 資料館係 (外線：560-6620)
-------	------------------------------

(日本工業規格A列4番)